



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 兵機海運株式会社
コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 078-940-2351

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,345	21.4	511	30.4	580	27.3	516	9.2
2023年3月期第3四半期	14,437	24.3	734	72.4	798	74.3	568	81.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 768百万円 (12.3%) 2023年3月期第3四半期 684百万円 (66.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	436.00	
2023年3月期第3四半期	482.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	13,123	4,641	35.4	3,911.98
2023年3月期	12,794	4,000	31.3	3,388.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,641百万円 2023年3月期 4,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				115.00	115.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正についての詳細は、本日(2024年2月13日)公表いたしました「非連結決算への移行及び2024年3月期個別通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期(通期)より非連結決算に移行することから、個別通期業績予想については、本日(2024年2月13日)公表いたしました「非連結決算への移行及び2024年3月期個別通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	1,224,000 株	2023年3月期	1,224,000 株
2024年3月期3Q	37,621 株	2023年3月期	43,413 株
2024年3月期3Q	1,184,064 株	2023年3月期3Q	1,178,200 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和されたこと等による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の高まりを背景として、経済活動の正常化が進み企業収益に改善の動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格や原材料の高騰に加え、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の停滞などの外的要因が景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。

①海運事業

内航事業では、取扱いトン数は前年度と比べて横ばいで推移しましたが、油糧・飼料関係を中心とした料金改定の効果もあり、売上高は5,205百万円（前年同期比2.3%増）と増収になりました。一方で、燃料油の高止まりなどの運航コストの増加に加え、管理経費の増加もありましたが、自社所有の船舶や艇を効率的に運航することで利益率の向上に努めた結果、営業利益は258百万円（前年同期比35.0%増）と増益になりました。

外航事業では、前年度に収益面で主力となった建機類の輸送契約が終了したことから、今年度は従来からの航路である中国、韓国、台湾の東アジアに加え、中国経由、中央アジア向け三国間輸送のスポット案件の受注に努めました。これらの結果、売上高は1,007百万円（前年同期比63.3%減）と減収になり、営業利益は73百万円（前年同期比72.2%減）と減益になりました。

②港運・倉庫事業

港運事業では、前年度高騰していたコンテナの海上運賃が半減したことに加え、円安傾向の影響もあって輸入貨物の取扱いが減少しました。また、船社費用等の一部取引について従来売上高として請求していたものを2023年10月以降は立替金として請求することとした影響もあり、売上高は3,935百万円（前年同期比26.5%減）と減収になり、管理経費の増加もあって営業利益は125百万円（前年同期比17.0%減）と減益になりました。

倉庫事業では、神戸・姫路両地区の危険物倉庫の取扱量については前年度並みに推移しましたが、神戸地区では港運事業の輸出入貨物の取扱いが減少したことと連動し荷役作業や付帯作業の収入が減少、姫路地区では鋼材の取扱量が減少したことにより、それぞれ一般倉庫での売上が伸び悩み、売上高は1,197百万円（前年同期比4.4%減）と減収になり、昨年11月に新設した危険物倉庫の償却費を始めとする管理経費の増加もあって、営業利益は54百万円（前年同期比57.4%減）と減益になりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,345百万円（前年同期比21.4%減）、営業利益511百万円（前年同期比30.4%減）、経常利益580百万円（前年同期比27.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,123百万円となり、前連結会計年度末と比較して329百万円増加いたしました。

流動資産は4,063百万円となり、前連結会計年度末と比較して207百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加322百万円、その他に含まれる立替金の増加206百万円に対して、受取手形、売掛金及び契約資産の減少288百万円、その他に含まれる短期貸付金の減少33百万円等によるものであります。立替金の増加と受取手形、売掛金及び契約資産の減少は、主として取引形態の見直しにより、一部取引について従来売上高として請求していたものを2023年10月以降は立替金として請求することとしたことによるものです。固定資産は9,059百万円となり、前連結会計年度末と比較して122百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価の上昇等による増加364百万円等に対して、減価償却による固定資産の減少266百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,482百万円となり、前連結会計年度末と比較して311百万円減少いたしました。

流動負債は4,174百万円となり、前連結会計年度末と比較して422百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少393百万円、未払法人税等の減少101百万円等に対して、支払手形及び買掛金の増加98百万円等によるものであります。固定負債は4,308百万円となり、前連結会計年度末と比較して110百万円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる繰延税金負債の増加111百万円、長期借入金の増加30百万円等に対して、船舶修繕引当金の減少35百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,641百万円となり、前連結会計年度末と比較して640百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上516百万円、その他有価証券評価差額金の増加250百万円等に対して、配当金による減少136百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は35.4%となり、前連結会計年度末と比較して4.1ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、本日（2024年2月13日）公表いたしました「非連結決算への移行及び2024年3月期個別通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,790	2,112
受取手形、売掛金及び契約資産	1,814	1,525
原材料及び貯蔵品	31	27
前払費用	87	67
その他	141	332
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	3,856	4,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	6,342	6,340
減価償却累計額	△3,032	△3,178
建物及び建物付属設備（純額）	3,310	3,162
船舶	952	952
減価償却累計額	△280	△331
船舶（純額）	671	620
土地	2,566	2,566
その他	1,059	1,036
減価償却累計額	△629	△654
その他（純額）	429	382
有形固定資産合計	6,977	6,731
無形固定資産		
その他	84	66
無形固定資産合計	84	66
投資その他の資産		
投資有価証券	1,804	2,169
その他	80	109
貸倒引当金	△9	△16
投資その他の資産合計	1,876	2,261
固定資産合計	8,937	9,059
資産合計	12,794	13,123

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144	1,243
短期借入金	2,884	2,490
未払法人税等	175	74
賞与引当金	161	77
その他	229	287
流動負債合計	4,596	4,174
固定負債		
長期借入金	3,510	3,541
船舶修繕引当金	42	7
退職給付に係る負債	462	485
その他	181	273
固定負債合計	4,197	4,308
負債合計	8,793	8,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	2,675	3,051
自己株式	△91	△79
株主資本合計	3,229	3,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	1,018
繰延ヘッジ損益	3	4
その他の包括利益累計額合計	770	1,022
純資産合計	4,000	4,641
負債純資産合計	12,794	13,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,437	11,345
売上原価	12,299	9,388
売上総利益	2,137	1,956
販売費及び一般管理費	1,402	1,445
営業利益	734	511
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	52	64
持分法による投資利益	10	3
その他	35	28
営業外収益合計	98	96
営業外費用		
支払利息	28	25
その他	6	2
営業外費用合計	35	28
経常利益	798	580
特別利益		
固定資産売却益	16	132
特別利益合計	16	132
税金等調整前四半期純利益	814	712
法人税等	245	196
四半期純利益	568	516
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	568	516

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	568	516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	248
繰延ヘッジ損益	24	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	115	252
四半期包括利益	684	768
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	768
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。